

金沢大学附属病院プロフェッショナル薬剤師養成研修プログラム

期間:通年、4,078 円/月

研修コースの選択:どのコースを選択しても、また幾つ選択してもよい

施設認定:日本薬剤師研修センター認定研修施設

医療薬学会認定研修施設、がん専門薬剤師研修施設

日本糖尿病学会認定教育施設

○がん専門薬剤師養成コース(5年間:医療薬学会がん専門薬剤師認定要件))

*北陸がんプロフェッショナル養成プログラム・インテンシブコース

・e-Learning

- ① がん緩和医療学
- ② 腫瘍薬物学特論
- ③ 臨床腫瘍学特論
- ④ 臨床統計学特論
- ⑤ 臨床栄養学特論
- ⑥ 腫瘍病理学特論

・がんプロキヤンサーボード(症例検討会)(テレビ会議方式)(随時、夕刻)

・がん診療連携拠点病院研修会(年6回程度)

*薬剤部実習(週1, 2回)

- ① 調剤実習
- ② レジメン演習
- ③ 抗がん剤混合など無菌調製実習
- ④ TDM 実習
- ⑤ 緩和ケアチーム回診への参加

*自施設での研修

- ① 抗がん剤の調剤(内服、注射)、処方監査
- ② 抗がん剤の混合調製
- ③ がん患者の薬剤管理指導(副作用モニタリング、投与量変更、支持療法の提案)
- ④ 医師、看護師へのがん化学療法に関連する情報の提供
- ⑤ 各がんのガイドラインの精読
- ⑥ 標準治療についての臨床的根拠となる論文の精読

*レポート

- ① 日本医療薬学会がん専門薬剤師養成研修コアカリキュラムの各項目についてのレポート(3-1、3-2、3-9、3-11、3-12、4-1、4-2、4-3を除く)

- ② がん患者の薬剤管理指導記録(1件/週)
- ③ がん患者の薬剤管理指導記録の要約(1名/月)
入院から退院までに実施した薬学的管理の要約
- ④ 標準治療についての臨床的根拠となる論文の構造化抄録(1報/3ヶ月)
- ⑤ 担当症例に生じたがん化学療法による有害反応の対応について、医師との **discussion** 内容(1件/月)
- ⑥ 1週間の業務量(がん化学療法に関連した業務)

* 講習会への参加

- ① 日本病院薬剤師会がん専門薬剤師研修事業講義研修「集中教育講座」
1年目と4年目に参加

○糖尿病療養指導コース(研修は認定要件とはならない)

- * 臨床栄養学特論(e-Learning)
- * チーム DiET に参加(週1回程度)
- * 病棟実習
(その他、糖尿病薬薬連携セミナー、循環器・代謝性疾患研究会などへの参加)

○フィジカルアセスメント実習

- * シミュレーター実習(半日)
- * 救急部実習(1日)